

多様なニーズに対応可能な無線LAN環境整備事業

—No.59 上里町—

【事業の目的】

施設利用者の利便性向上、災害時の通信手段の確保及び GIGA スクール構想の実現を目的として、町の指定避難所として指定されている公共施設や公立小中学校における無線 LAN 環境の整備を実施しました。平時においては、より一層の住民サービスの向上、行政事務の効率化、地域社会の活性化、教育の充実を目指し、災害時には、平時で使用している回線のフル活用による、安全安心かつスピード感を意識した通信手段の確保を図ることを目的としています。

【事業の内容】

令和元年度に町の指定避難所を中心に公衆無線 LAN 環境整備を実施し、公共施設において公衆無線 LAN の使用を開始しました。令和2年度には、上里町 GIGA スクール構想の実現のための町立小中学校における通信ネットワーク環境整備を実施しました。その際に、学校体育館・校舎を避難所として利用する時に他の公共施設と同様に公衆無線 LAN が使用できるような環境整備としました。

【事業年度】

令和元年度～令和2年度

【予算額(千円)】

127,599千円(令和元年度～令和2年度)

うち 85,376千円(令和2年度)

【財源】

無線システム普及支援事業費等補助金(国)

公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金(国)

【事業実施に至った背景・経緯】

公衆無線LAN環境の整備は、多様な地域課題に対応して、町が住民サービスを持続的かつ安定的に提供していくためには必須となってきております。その中でも特に防災、災害の対策強化は急務かつ重要な位置づけであります。住民サービスの確保のみならず、効率的な行財政運営の観点からあらゆる課題に対応できる体制を構築しました。

【事業のPRポイント】

平時では、公立小中学校でGIGAスクール構想の実現に資するために活用している無線LAN環境を、災害時には、他の公共施設と同様に町が一括管理できる仕組みを構築することにより、安全、安心かつ迅速な対応が可能となります。公立小中学校の無線LAN環境は、児童生徒が一斉にインターネット端末を利用することを想定しているため、災害時の携帯電話等が輻輳のため、利用できない場合であっても、多数の住民が一斉に災害情報等を効果的に受発信可能となります。

また、他の公衆無線LAN整備済み公共施設で、既に公衆無線LANを使用している住民は、災害時に公立小中学校の公衆無線LANをよりスムーズに使用することが可能となり、災害時の不安や混乱を軽減することも期待できます。

【事業実績・成果・今後の展開】

<令和元年度>

町の指定避難所を中心に公衆無線LAN整備・使用開始

<令和2年度>

公立小中学校（町の指定避難所あり）に公衆無線LAN整備・使用開始

<今後の展開>

ICT・IoTを最大限活用し、町が担うべき多様な地域課題を解決できる仕組みを構築していく。今後は、施設利用者の利便性、災害時の活用、教育の充実のみならず、地域社会の活性化にも力を入れ、持続可能なまちづくりを目指していく。

【参考資料】

上里町無線LAN整備状況イメージ図

〔連絡先〕

総合政策課 政策調整係 0495(35)1238(内線3402)

上里町無線LAN整備状況 イメージ図

